

## 「大阪大学特別セミナー／産学連携・クロスイノベーションセミナー」開催概要

### == 開催趣旨 ==

革新的な医薬品の創出には、アカデミアによる最先端の基礎研究と、企業による実用化・事業化のノウハウを融合させた「産学連携」が不可欠となっています。特に医療ニーズの多様化と高度化が進む現代においては、創薬シーズの発掘や開発を担う大学・研究機関と、それらを実際の製品化・社会実装へと導く製薬企業・ベンチャー企業との早期からの協働が、イノベーション創出の鍵を握っています。

本セミナーでは、グローバルに創薬を展開されているアステラス製薬株式会社の安川健司代表取締役会長を演者に迎え、製薬企業の経営者の視座から見た、創薬の現状と課題、そして死の谷を乗り越えて社会実装につなげるためにアカデミアに期待すること、さらに、日本が直面する医療課題やその根底にある社会保障制度の在り方と、課題を乗り越えた先にあるヘルスケア産業の未来について、ご講演をいただきます。

本セミナーがアカデミアと産業界の橋渡しとなり、次世代の医薬品創出につながる新たな連携の芽を育む契機となることを期待します。

主催： 大阪大学／  
大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属病院 産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ

開催日時： 令和7年8月4日（月）16時00分～17時25分（開場・参加受付：15時30分～）

開催形式： ハイブリッド形式（Zoom Webinar によるオンライン Live 配信）

開催場所： 大阪大学 大学院医学系研究科 最先端医療イノベーションセンター（CoMIT 棟）  
1階 マルチメディアホール（収容人数：150名）  
アクセス：<http://www.comit.med.osaka-u.ac.jp/jp/access.html>

参加対象： ・本学の医学系研究科（医学専攻・保健学専攻）・医学部附属病院、歯学研究科、薬学研究科、生命機能研究科、工学研究科、理学研究科等のライフサイエンス系部局等・共創機構の教員、研究員、医員、研修医、大学院生、共同研究講座等の企業研究員等  
・産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ連携機関（企業・団体）構成員

参加費： 無料

参加申込： 会場参加（オンサイト参加）及びオンライン参加とも、所定の申込期限まで以下のWebサイトから参加登録願います。

<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/xii/events/41>



↑ 参加登録はこちら

申込期限： 会場（オンサイト）参加： 令和7年7月28日（月） 17時00分まで  
オンライン参加： 令和7年8月 4日（月） 16時00分まで

\*参加登録後、参加登録受付メールが届きますので、届かない場合は再度登録願います。

\*オンライン参加の場合は、Zoomからの参加受付メールに記載の方法により、Zoom Webinarにサインインの上、参加願います。

## <プログラム>

司会進行： 大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属部病院  
産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ  
ディレクター 藤本 学（皮膚科学 教授）

時刻	次第	登壇者等
16時00分～	開会挨拶	大阪大学総長 熊ノ郷 淳
16時05分～	講演	演題：「日本の創薬研究に今こそ必要な心得 ～産学連携や創薬研究における企業の視点からアカデミア に期待したいこと～」 講師：アステラス製薬株式会社 代表取締役会長 安川 健司
17時05分～	質疑応答	（会場及びオンライン参加者から）
17時15分～	事業紹介	アステラス製薬株式会社 アドボカシー部 部門長 福士 納 「アドボカシー部事業紹介」 *最先端の研究・技術が社会に届くために、アステラス製薬株式 会社がアカデミアや大学を含むマルチステークホルダーと取り 組む活動の意義と事業の紹介。
17時20分～	閉会挨拶	大阪大学大学院医学系研究科長 石井 優

問合せ先： 大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属病院  
産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ（XII）事務局

TEL: 06-6210-8204（ダイヤルイン）

E-mail: [forum@cii.med.osaka-u.ac.jp](mailto:forum@cii.med.osaka-u.ac.jp)

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

大阪大学最先端医療イノベーションセンター 6階 0602A 室